

ポルトガルで左派政権が誕生へ

発表日：2015年11月25日(水)

～大統領の解散カードの威力はいかに？～

第一生命経済研究所 経済調査部
主席エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

- ◇ 中道右派のコエリョ政権が発足直後に退陣したことを受け、大統領は中道左派の社会党を率いるコスタ氏を新たな首相に任命した。左派政党の協力を得て、近く政権を発足する見込みとなった。
- ◇ 左派政権の誕生により、財政規律の悪化が懸念される。大統領はコスタ新首相の任命にあたり、財政規律の遵守を求めた。政府の解散カードをちらつかせ、財政拡張路線に歯止めを掛ける構え。
- ◇ ただ、こうした社会党政権の軟化に、他の左派政党が従うとは限らない。細かい政策分野では左派政党間の意見相違が目立ち、新政権も短命に終わる可能性が高い。

ポルトガルでは中道右派のコエリョ政権が11月上旬に発足から僅か2週間余りで退陣した。これを受け、カヴァコ・シルヴァ大統領は24日、中道左派の「社会党（PS）」を率いるコスタ氏を新たな首相に任命した。コスタ新首相は近く閣僚名簿を提出し、大統領が任命することで新政権が発足する。10月上旬に行なわれた議会選挙で社会党が獲得した議席は86にとどまり、定数230の議会で過半数（116議席）を下回っている（表）。新政府の政策方針を定めた政府綱領は、任命から遅くとも10日以内に議会の審査に付される（憲法第192条）。政府綱領が在籍議員の絶対多数により否決された場合、コエリョ政権同様に政府は解散する（同第195条）。コスタ政権が信認されるためには、反緊縮や反EU色の強い「左派ブロック（BE）」や「統一民主連合（PCP）」が連立に加わるか、閣外協力することが必要となる。

カヴァコ・シルヴァ大統領はコスタ新首相を任命するにあたり、新政権がEUの財政規律を遵守することや金融安定を確保することを条件として要求した。大統領は議会に議席を有する政党および国家評議会（議会議長、首相、憲法裁判所長官、オンブズマン、地方政府の首長などで構成される）の意見を聴取したうえで、議会を解散する権限を有している（同第133条）。議会は選挙後6ヶ月（来年4月）、並びに大統領の任期満了（来年1月）までの6ヶ月間は解散することができない（同第172条）。つまり、早期に議会を解散することはできない。ただ、大統領は民主的制度の正常な運営を確保するために必要となる場合、国家評議会の意見を聴取したうえで、政府を解散することが認められている（同第195条第2項）。

この「民主的制度の正常な運営」がいかなる状況を指すかについては解釈の余地があるが、大統領は政府の解散カードを通じて新政権の財政運営に一定の影響力を及ぼそうとしている。ポルトガルの財政規律が悪化する場合も、ECBが量的緩和を継続・強化するなかでは財政リスクは表面化しにくい。だが、ECBは採用する4つの外部格付けの最上位格付けに基づいて、資産買入の適格基準を判断している。DBRSがポルトガル国債の格付けを1ノッチ引き下げれば、ポルトガル国債は買い入れ対象から除外される。

こうした大統領からの要請と解散カードをちらつかされ、コスタ政権が拡張的な財政運営に舵を切ることはひとまず歯止めが掛かると考えられる。だが、社会党政権の政策方針に、左派ブロックや統一民主連合が従うとは限らない。政策の細部では左派政党間の意見相違が目立ち、新政権もまた短命に終わる可能性が高い。

(表) ポルトガルの議会選挙での政党別獲得議席数

政党名	略称	議席数	
		前回 (2011年)	今回 (2015年)
社会民主党	P S D	108	107
民主社会中道=人民党	C D S - P P	24	
社会党	P S	74	86
統一民主連合 (共産党=緑の党)	C D U	16	17
左派ブロック	B E	8	19
動物自然愛護政党	P A N	0	1
総数		230	230
第一次コエリョ政権		132	—
第二次コエリョ政権		—	107
コスタ政権 (連立の場合)		—	122
コスタ政権 (閣外協力の場合)		—	86

出所：ポルトガル政府資料より第一生命経済研究所が作成

以上